

総量3%増、積み込み量6%増

■成田空港貨物量<8月>

東京税関が16日に発表した2026年8月の成田空港の国際貨物取扱量は、総取扱量が前年同月比2.8%増の17万5437トンと29カ月連続で増加した。このうち、積み込み量は6.4%増の8万5418トンと29カ月連続の増、取り下ろし量は0.4%減の9万19トンと2カ月連続の減だった。

積み込み量のうち、輸出量は12.6%増の5万2089トン。成田地域通関

関分は6.5%増の1万7011トンで、輸出量に占めるシェアは32.7%。その他地域通関分は15.8%増の3万5078トンで、シェアは67.3%だった。

取り下ろし量のうち、輸入量は2.7%増の5万5552トン。成田地域通関分は2.9%増の4万6648トンで、輸入量に占めるシェアは84.0%。その他地域通関分は1.9%増の8904トンで、シェアは16.0%。成田地域通関分

の輸入量のうち、生鮮貨物は24.8%減の4737トンと13カ月連続で減少した。品目別では、肉類が59.8%減、野菜などが46.3%減だった。

また、仮陸揚げ貨物量のうち、積み込み量は2.0%減の3万3329トンと2カ月連続の減、取り下ろし量は5.0%減の3万4467トンと3カ月連続の減だった。総取扱量に占める仮陸揚げ貨物量のシェアは38.6%だった。